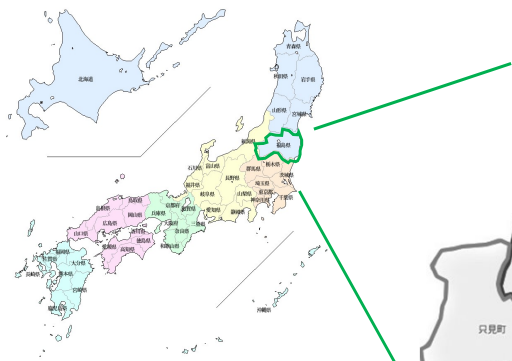




原子力災害からの復興への取組と未だ厳しい現状 そして 今後の課題

令和7年4月
福島県富岡町





面積68.39km²、人口11,160人
年間降水量1,533mm
年間平均気温13.8℃

【南北の幹線】

- JR常磐線（富岡駅・夜ノ森駅）
郡内で最も多い乗降者数（約30万人/年 H22）
 - 常磐自動車道（常磐富岡IC）
 - ・再開通（H26.2.22）（広野IC～常磐富岡IC）
 - ・全線開通（H27.3.1）（常磐富岡IC以北）
 - 幹線道路 国道6号
- 【東西の幹線】
- 県道36号小野富岡線

- 国機関 裁判所、労基署、職安、営林署
- 県機関 富岡土木事務所（前身は明治の郡役所）、双葉農業普及所、原子力立地振興事務所
- 警察署 双葉警察署（平成22年 富岡・浪江警察署統合）
- 金融機関 6行7店（東邦、福島、大東、労金、あぶくま信金、相双信組）
- 医療機関 初期救急医療「今村病院」と6医院（内科、外科、整形外科、眼科）
- 福祉機関 県立富岡養護学校
- 郵便局 2局（富岡・夜の森）
- 商業施設 ヨークベニマル2店舗、家電量販店、ホームセンター、ドラッグストア、飲食チェーン
- 電気関係 東京電力(株)浜通り電力所、(株)東北電力、NTT等の支店
- 教育関連 小中学校4校と“双葉地区教育構想”

明治33年、夜の森が開拓された際に植えた桜が今では町のシンボルとなった。毎年開花と同時に見物客でにぎわう。

全国花いっぱい「花と緑の駅」コンクールで日本一に輝いたJR常磐線夜ノ森駅のツツジは、旅人の目を楽しませる。

水辺に生息するセキレイは、
富岡川の清らかな流れとチチ
チッと爽やかなさえずりが
人々の心を和ませる。

02 複合災害・長期避難以前の“富岡町”



岩手県、宮城県、福島県を中心とした太平洋沿岸部を巨大な津波が襲った。福島県相馬市9.3m以上、岩手県宮古市8.5m以上、大船渡市8.0m以上、宮城県石巻市7.6m以上などが観測されたほか、宮城県女川漁港で14.8mの津波痕跡も確認された。遡上高(陸地の斜面を駆け上がった津波の高さ)では、**国内観測史上最大の40.5mが観測された。**

04 富岡町の災害復興計画



復興ビジョン

富岡町災害復興ビジョン

平成24年1月

富岡町災害復興ビジョン策定委員会

- ・段階的な帰町に関する考え方
- ・帰町までの除染等に関する取組方針
- ・復興の足がかりとなる除染実施と風評被害撲滅
- ・町民のこころを繋ぐサロンの設立

第一次

富岡町災害復興計画（第一次）

平成24年9月

富岡町

- ・安心して帰りたくなる環境整備
- ・新たな魅力を備えた「ふるさと富岡」づくり
- ・当面帰還できない町民の心身の健康づくりと生活再建

第二次

富岡町
災害復興計画
(第二次)
平成27年6月

- ・「町民一人ひとりの“心”の復興」と「町民の心をつなぐ“ふるさと富岡”の復興
- ・『帰還する道・『帰還しない道』・『今は判断できない道』町民一人ひとりの意向を尊重

第二次(後期)

富岡町災害復興計画
(第二次)後期
令和2年3月

- ・「人が生き 町が 生き未来がいきる富岡町」
- ・町とつながり続ける環境の充実
- ・新たなひとの流れの創出



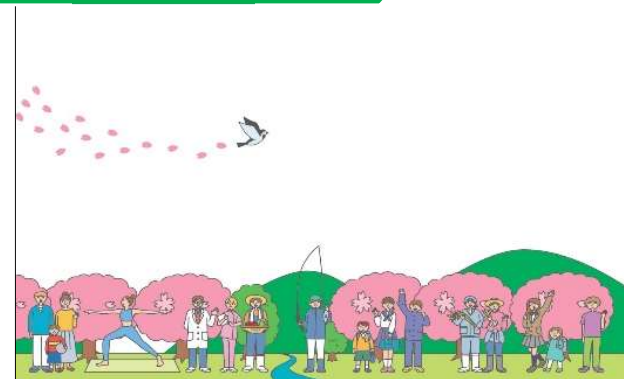
一人ひとりの幸せで みんなの未来を創る 富岡町
～住むほど、関わるほど、魅力と愛着が湧く町～

富岡町 災害復興計画(第三次)

令和7年度(2025年度) → 令和16年度(2034年度)

概要版

第三次



【大前提】

- ・避難指示継続区域の早期解除
- ・生活基盤の整備と再生

- 「未来志向の復興・創生」
「つながりの拡大」
「世界に誇れる幸せづくり」

- 計画期間 令和7年度～令和16年度

05 災害復興計画(第三次)に掲げる2つの重点政策



重点政策

復興 帰還と移住の促進

富岡を再び “暮らし”の場として

富岡町は、豊かな自然、美しい景観、そして力強い歴史と文化に育まれた町です。この魅力を未来へとつなぎ、町全体を元気あふれる新しいステージへ導くために、帰還される方々、移住される方々を温かく迎え、誰もが安心して暮らせる町、暮らしの場として選んでもらえる町を目指していきます。

みんなが活躍できるまちづくり

- 富岡町には、地域全体で人を育む温かい環境がありました。
- 地域の魅力を最大限に活かした活動や新しい団体づくりを応援し、町民一人ひとりが主役となる環境の整備や、リーダーや担い手を育む仕組みをつくり出します。
- 子どもから大人までそれぞれの挑戦を応援し、新しい学びや成長の場を提供するとともに、多様な生き方や働き方の選択の場を創出し、より良い未来を切り拓いていきます。



居心地の良い生活環境づくり

- 富岡町は、双葉郡の中心にある豊かな自然に囲まれた暮らしやすい町です。
- 日常の交流が自然と生まれる場の提供や、地域防災力の強化等による町全体が支え合える安心の仕組みを築きます。
- また、住みやすさを追求した住環境を整備するとともに、余暇を楽しめる施設や活動を充実させ、誰もが快適で心豊かに過ごせるまちを目指します。



花と緑あふれるまちづくり

- 富岡町は、桜や花々が美しく咲き誇る風景が自慢です。
- 桜やツツジの再生や維持管理を進めるとともに、歩きたくなる街並みを創出し、町を訪れる人々との交流を深めます。
- また、観光やイベントを通じて新たなにぎわいを生み出し、地域経済の活性化を図るとともに、未来に向けて、持続可能な美しいまちづくりを実現します。
- 日常の交流が自然と生まれる場の提供や、地域防災力の強化等による町全体が支え合える安心の仕組みを築きます。
- また、住みやすさを追求した住環境を整備するとともに、余暇を楽しめる施設や活動を充実させ、誰もが快適で心豊かに過ごせるまちを目指します。



花と緑あふれるまちづくり

- 富岡町は、桜や花々が美しく咲き誇る風景が自慢です。
- 桜やツツジの再生や維持管理を進めるとともに、歩きたくなる街並みを創出し、町を訪れる人々との交流を深めます。
- また、観光やイベントを通じて新たなにぎわいを生み出し、地域経済の活性化を図るとともに、未来に向けて、持続可能な美しいまちづくりを実現します。



歴史と文化の継承

- 富岡町の祭りや伝統芸能は、町の誇りです。
- 伝統行事や民族芸能の保存・継承に取り組むとともに、複合災害の記憶を風化させることなく後世に伝えるため、震災遺構や資料の保存・公開を進めます。
- また、町の歴史資源を活かした教育や観光コンテンツを充実させ、町内外の人々が文化と複合災害の教訓にふれあう機会を創出します。



重点政策

創生 交流・関係人口の拡大

つながりが 未来をひらく町へ

富岡町の未来をより明るく、力強いものにしていくためには、地域内だけでなく、外からのつながりを広げていくことが欠かせません。町に関わる人々が増えることで、新たな活気や可能性が生まれ、町の魅力がさらに高まります。町民、企業、そして外部の方々が一体となって、交流と活力を生み出し、新たな交流・関係人口を創造することで大交流を生み出します。

富岡駅、夜ノ森駅を中心としたにぎわいの創出

- 富岡町には、魅力的な場所と資源があります。
- 駅前エリアを核として、町民、来訪者、そして次世代が共に集い、交流を深める場を提供します。
- また、観光資源の発掘やイベントの開催を通じ、町の魅力を国内外に発信するとともに、豊かな交流と創造が持続的に生まれる場となることを目指します。



地域資源とスポーツを活かしたにぎわいの創出

- 富岡町は、豊かな自然と歴史を持ち、多彩な可能性を育んできた町です。
- この特性を活かし、地域資源とスポーツを基軸にしたにぎわいの創出を目指し、多様な交流の場や機会を提供します。
- また、バドミントンなどの多彩なスポーツイベントや合宿機能の充実を通じて、誰もが訪れたい場所となる未来を描きます。



地域ブランド化

- 富岡町には、多彩な魅力と可能性が広がっています。
- 広報媒体やSNSを活用した情報発信を強化するとともに広報体制を構築します。
- また、特産品のブランド化や、町の農林水産業や観光資源を組み合わせた体験活動を展開し、地域の魅力を多様な視点から発信することで、持続可能なブランド力を高め、町の価値を未来へとつなげます。
- この特性を活かし、地域資源とスポーツを基軸にしたにぎわいの創出を目指し、多様な交流の場や機会を提供します。
- また、バドミントンなどの多彩なスポーツイベントや合宿機能の充実を通じて、誰もが訪れたい場所となる未来を描きます。



地域ブランド化

- 富岡町には、多彩な魅力と可能性が広がっています。
- 広報媒体やSNSを活用した情報発信を強化するとともに広報体制を構築します。
- また、特産品のブランド化や、町の農林水産業や観光資源を組み合わせた体験活動を展開し、地域の魅力を多様な視点から発信することで、持続可能なブランド力を高め、町の価値を未来へとつなげます。



実証フィールドを活用した実践的教育とビジネスの醸成

- 富岡町は、課題解決の実証フィールドとしての特徴を生かし、教育旅行やフィールドワーク(現地調査)に留まらず、実践的な経験を深められる環境を整備します。
- また、スタートアップの支援と関係する町内企業や町民等との交流を促進することで、互いの理解を深め、新たな価値創造のきっかけを提供します。こうした取り組みを通じて、未来志向の持続可能な地域社会を構築します。

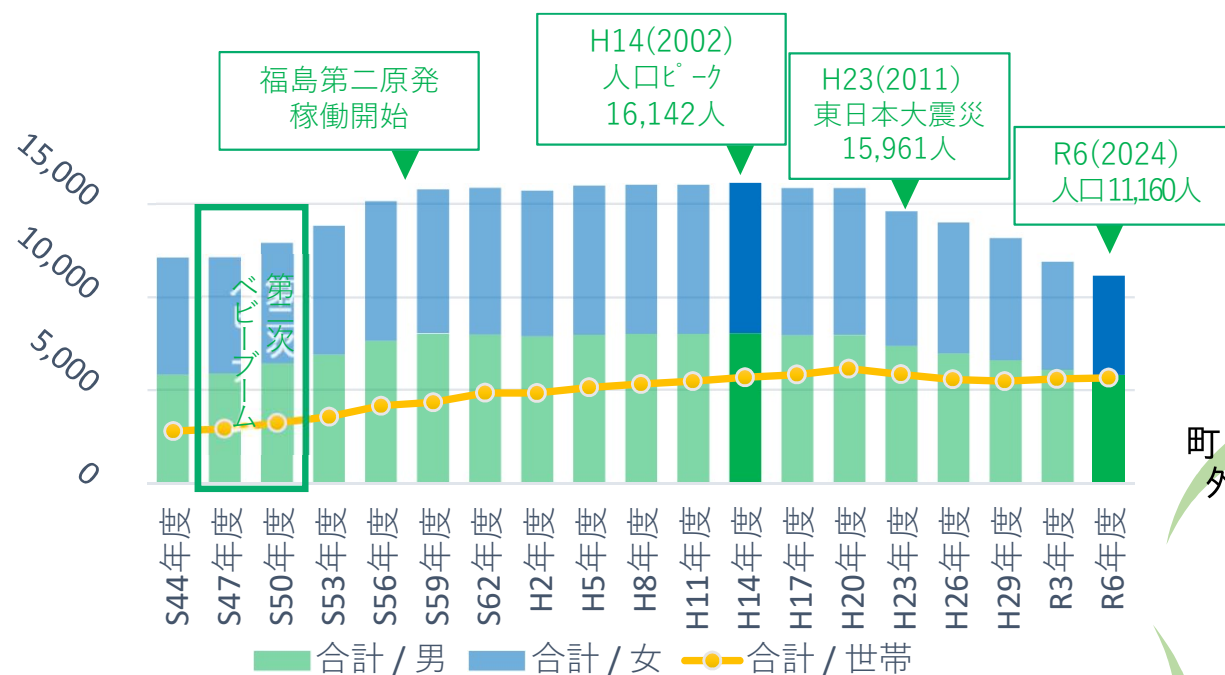


06 厳しい現状①（人口推移）



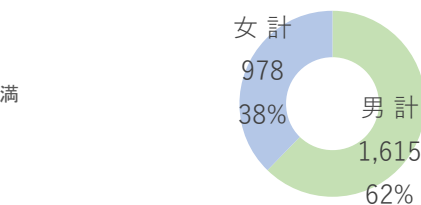
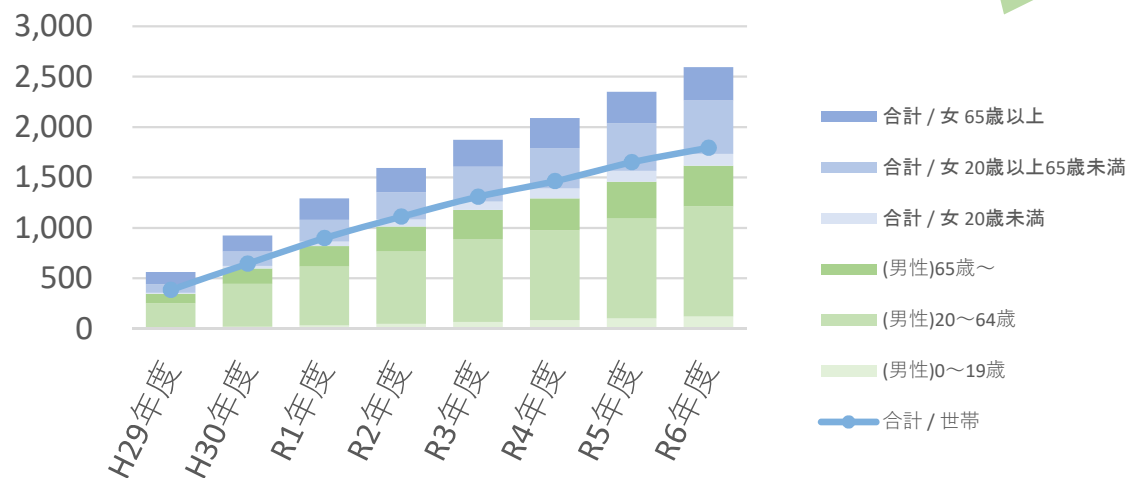
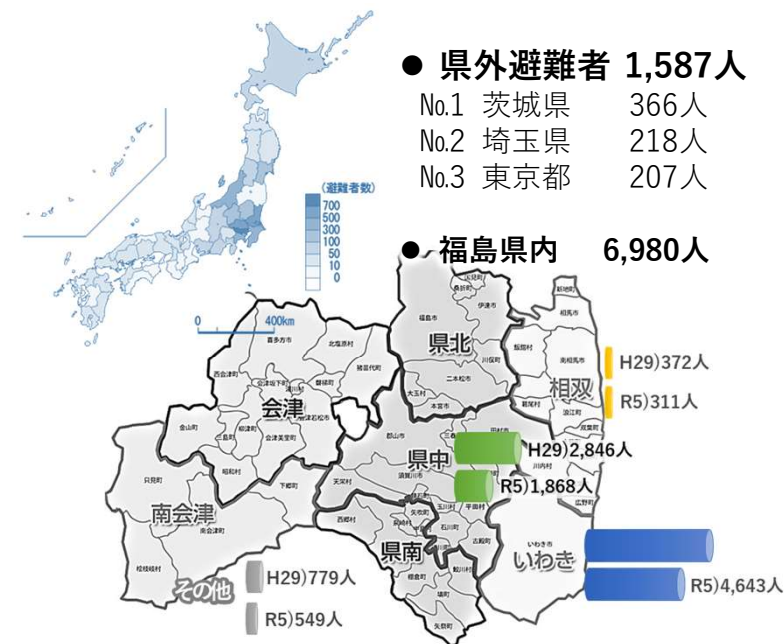
避難指示解除が帰還に直結しない

- ▶ 一度移した生活の軸足を戻す難しさ（仕事・家族の介護や育児など）
- ▶ 町内の生活環境（医療や福祉・買い物環境など）の回復途上
- ▶ 従来の地域コミュニティ機能の著しい機能低下（支え合い・防犯）



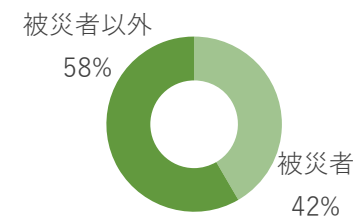
町外

町内



当町含む地域の人口偏在

- ▶ 一時の復興需要に従事する単身男性が占める割合が大きい



同じ町に暮らす仲間としての支え合いづくりが必要

- ▶ まずは、多くの接点づくり

07 厳しい現状②（町内の生活環境の更なる充実）



原子力被災地域特有の現実

住宅地が空地になるプロセス

- ① 長期避難中による立入り制限など管理が困難に
- ② 居住しない住宅ではカビや害虫、動物などにより荒廃
- ③ 更に度重なる地震や風雨により荒廃度合が悪化
- ④ 居住できなくなり国費による解体を選択
- ⑤ 自宅がなくなることで更地になった土地が残る

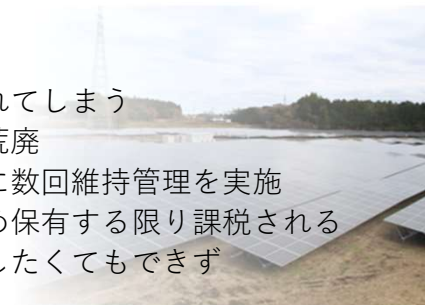


象徴的な風景

- ▶ 単なる空地ですがどのような課題を想像しますか？
- ▶ 富岡町の住宅が集中していた地域・駅前・商店街など多くの宅地が空地になっています。

空地管理の苦悩

- ① 自宅解体後は訪れる理由も薄れてしまう
- ② 更地に草木が繁茂し、土地も荒廃
- ③ 利用目的もないまま何とか年に数回維持管理を実施
- ④ 固定資産税は資産税であるため保有する限り課税される
- ⑤ 需要が喚起されず、土地利用したくてもできず



生活に必要な環境整備とコミュニティを含めた社会資源の回復

まだまだ回復途上の生活環境

- ▶ 一定の地域に「生活できる」ための機能を回復
- ▶ 国の支援などによりその機能と機能同士や住まいなどを結ぶ生活の足となる交通が最低限確保されている
- ▶ 医療や介護・住まい・子育て施設・買い物環境など様々な機能の向上を町内に暮らす住民だけでなく、帰還や移住を検討する方が求めている
- ▶ まだまだ、町内や周辺地域に住む方や働く方の絶対数がニーズを上回るような民間の経済活動などによる更なる機能の供給を喚起するには至っていない

この地域ならではの暮らしの豊かさ

- ▶ 限られた社会資源の中で、物理的な豊かさを向上させる取組みと同時に被災者や移住者といったカテゴリーにとらわれない、同じ地域で暮らす者が互いに支え合う、震災以前に地域で有していた地域コミュニティ機能を補完する機能を一つの社会資源と捉え、その両輪をもって彩ある日常を創らなければならない

理美容店が近くにあるといいな

日曜日はお店が営業してなくて困る



彩ある日常

- ▶ 自分らしく学び・生きる
- ▶ 余暇を楽しめる

当たり前・安心して生活できる

- ▶ 子供が安心して通学できる
- ▶ 困った時に何とかなる

生活できるインフラ

- ▶ 電気・ガスなどが復旧
- ▶ 当り前の回復

放射線の低減



08 もっと富岡町を知りたい



Instagram

ログイン



tomiokatown_official • フォロー ...
福島県双葉郡富岡町夜ノ森

tomiokatown_official 【夜の森桜まつり 2025】

4月5日（土）・6日（日）に開催された
🌸夜の森桜まつり2025🌸をレポート
📌

夜の森公園と夜の森桜通り線を舞台に、
たくさんのステージが披露されました
🌟

5日の新酒発表では、
バーテンダー資格を持った
富岡町の友好都市、埼玉県 #杉戸町 の役
場職員が
純米吟醸「天の希」でカクテルを作っ
てくれましたよ 🍷💖

そのほかにも、太鼓やYOSAKOI、フラダ
ンス

♡ 💬 📌

いいね！134件

1日前

ログインすると「いいね！」やコメントができます。



富岡町公式Instagram



富岡町公式Facebook



とみっぴーFacebook



とみおかアーカイブ
ミュージアムFacebook



富岡町公式チャンネル



富岡町公式アカウント



- 富岡町ホームページ : <https://www.tomioka-town.jp/index.html>
- 富岡町移住定住ポータルサイト : <https://www.tomiokakurashi.com/index.html>
- とみおか放射線情報まとめサイト : <https://tomioka-radiation.jp/>
- 富岡町文化交流センター 学びの森 : <https://www.manamori.jp/>
- とみっぴーラジオ：ラジオ福島（毎月第2火曜日 14:10～14:20）



未来へとつながれ ひろがれ 富岡町



富岡町役場

本庁舎 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622-1
☎0240-22-2111
いわき支所 福島県いわき市平北白土字宮前8
☎0246-88-1987
郡山支所 福島県郡山市大槻町字原ノ町49-1
☎024-983-9021

【作成】

富岡町企画課
tom0200-0@tomioka-town.jp

